

留学報告書

オーストラリア・ウーロンゴン大学

学部学科・研究科専攻	国際学部国際学科		留学時学年	3年
留 学 先	国	オーストラリア	大学/機関	ウーロンゴン大学
期 間	2025年8月16日 ~ 2025年9月14日			
	短期		計1ヶ月	

[1] 参加したコースの時間数と時間割

・科目名(受講した科目を全てご記載ください):

【時間割】

時 間	月	火	水	木	金	土	日
8 時 30 分～10 時 30 分	○	○	○	○	○	Free	Free
11 時 00 分～12 時 30 分	○	○	○	○	○	Free	Free

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

クラス人数は他大学の留学期間により変動したがおおむね 15 人程度であった。

日本人の他に韓国人 1 名、トルコ人 1 名、サウジアラビア人 1 名の生徒が在籍していた。担当教員は 2 名で双方ともにオーストラリア人であった。授業は英会話のように実際に英語で先生と生徒間、また生徒同士で会話しあうことが重点的であった。

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

Conversation Activity や Sport Activity などクラス以外で実際にウーロンゴン大学の生徒と交流することのできる機会があった。

週末はシドニーの街を散策し食事やショッピングを楽しんだ。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

体育館、Uni Shop、カフェ

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋: 1部屋 1人で使用

様子: 一人で暮らすことには十分なほどの部屋であった。朝食は家で用意しているパン、シリアル、コーヒー、紅茶などをセルフサービスで作る形態であった。夕食は家族みんなで食べた。家でのルールが記されたプリントを渡され、特に気を付けなければいけないことはシャワータイムであり、10分以内に済まなければならなかった。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- 楽しかったこと:
他大学の生徒と濃密な交流を深めることができ、クラスの枠にとどまらず多くの学生と関わることもできた。日本人同士であっても英語でコミュニケーションを図ろうと努力していた。
- 苦労したこと:
オーストラリア英語にあまり馴染みがなかったため、オーストラリア英語特有のアクセントを聞き取ることが難しかった場面が多少あった。

[7] 留学の成果について教えてください

- 1) 語学力の向上:
多少は向上した
- 2) 専門知識の向上:
授業を通してオーストラリア英語や文化について学ぶことができたため、日本との違いとも比較しながら文化について知ることができた。
- 3) 自己成長など
日本とは異なる多様な価値観を培うことができ、世界には私自身が考えていることとは違う考え方が多く存在していることを改めて理解できた。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

日本とは違った世界が溢れています！ぜひ自分自身の教養を高めるためにも一歩踏み出して留学にチャレンジしてほしいと思います。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

内訳			金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費(授業料、フライト代他)	750000円
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	
3	中期・長期留学者のみ	滞在費(寮費など)	
4	教材費		0円
5	保険代		18000円
6	私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)		82707円
7	個人的な買い物		130617円
8	その他(eSIM データ無制限)		10000円
9	留学に関する費用(1 から 8 の合計)		991324円
10	受給した奨学金(奨学金名:)		0円
11	留学に関する費用総額(上記 9 から 10 を引いた額)		991,324円



